

いち まち まつり
市・町・祭を

『新府中市史』から 読み解く

講師：小野一之氏（元府中市郷土の森博物館長）

府中市では、50年ぶりに、平成26（2014）年度から10年計画で新府中市史編さん事業が進められてきましたが、令和6（2024）年度までに、原始・古代、中世、近世、近現代、自然、民俗、考古・美術工芸の7部会で計31冊の資料編、通史編などが刊行され、多くの成果をあげています。

今回の公開講座では、新府中市史の執筆にも携わってきた元府中市郷土の森博物館長の小野一之氏に講演をお願いし、国府のまちから宿場町へ、そして近代都市へ展開した武蔵府中の歴史について、「市（いち）」「町（まち）」「祭（まつり）」をキーワードに、『新府中市史』の成果を読み解いてもらいます。「市」「町」「祭」はいずれも「まち」と読むことがあります。縄文時代の交易、古代国府の「市」、中世の「五月会さつきえの市」、近世の「馬市」、そして「ケヤキ並木」へと歴史をたどります。ぜひ、ご参加ください。

日時

令和7年

10/11（土）
13:30～15:00

場所

府中市市民活動センター
バルトホール
プラッツ

参加無料

事前申し込み不要
当日、直接会場へ
お越しください。

問合せ先

府中市史談会 事務局 TEL：042-366-3520 Mail：fuchu.shidankai@gmail.com